

地域おこし協力隊通信

vol.64

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



皆さんこんにちは。幌延町に移住してから早くも1年が経過しました。地域おこし協力隊の貞廣です。幌延で初めて過ごす冬は雪の多さと風の強さに圧倒されていましたが、無事に長い冬を越えることができそうです。

冬はいつも家にこもりがちな私ですが、今年の冬はボランティアとして「オオワシ・オジロワシ一斉調査」のお手伝いをさせていただくこととなり、豊富町の「認定NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク」の職員に同行しました。この調査は11月から3月までの間、豊富町の稚咲内から海沿いを北上、宗谷岬から猿払村まで南下して見つけたワシ類の個体数などをまとめ、冬季の生態を明らかにするためのものです。

国の天然記念物として知られるオオワシとオジロワシは知床半島で多く見られることで有名ですが、ここ宗谷地域でも時々見ることができます。最初はすぐに見つけることができなかつたのですが、調査を重ねるたびに見つけられるようになりました。

冬の楽しみ方として、スノーシューでの動物散策などがありますが、今後は活動の一つとして、希少な冬鳥の観察ツアーの実現に繋げていきたいです。いつかガイドとして説明ができるように、まずは動物や自然のことを勉強していきます。



調査中に発見したオジロワシ（左）とオオワシ（稚内市、1月）

集落支援担当 中井正幸隊員



雪が降るたびに「ここってこんなに雪が降るんですね」と問寒別の方々に尋ねると、「まだまだこんなもんじゃないよ」という言葉があちこちから返ってきました。その言葉が身に染みて感じた初めての問寒別の冬。温かい春が待ち遠しい季節ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。地域おこし協力隊の中井です。

1月と2月に問寒別地区内の交流機会の創出を目的とした催し「といかんほっとサロン」を開催しました。参加者がメキメキと上達していくフロアカーリング大会はとても人気で、ブームが起きるのではないかとひそかに期待しています。

そんな中、サロンが実生活の役に立ったと感じられることがありました。市民後見人の普及・啓発活動を行う町民有志の茶話会「結」が演じた劇「訪問販売トラブル」を上映した時のことです。以前この映像を見たことがあるという参加者が「同じような手口の詐欺電話がかかってきたが、劇のお陰で騙されずにすんだ」と上映後に話してくださいました。サロンに来ていた「結」のメンバーの説明も加わり、とても実のあるサロンになりました。



茶話会「結」による訪問販売トラブルを題材にした映像上映会

お問い合わせ先：（観光振興）企画政策課 企画政策グループ

電話 5-1114 告知端末機 5-8814

（集落支援）地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」

電話・告知端末機：9-7367